



第2課 買い物

できること具体例

- ㊦ 漢数字で書いてある1～10の数字や、百、千、万円の金額がわかり、読むことができる。
- ㊦ スーパーの広告などから、肉の種別がわかり、読むことができる。
- ㊦ スーパーなどにある「○○産」「○%引き」「酒」の表示から情報が取れる。

とびら

◎とびらに出ている学習漢字

【提出漢字】円

【読める】牛肉、豚肉、鶏肉

【見て、わかる】～産、～引き、酒

◎教室でのやり取り例

①とびら全体について

T: これはスーパーの広告です。見ますか。(=スーパーの広告を見たことがありますか。)

〈漢字を指しながら〉スーパーで、この漢字を見ますか。(=スーパーでこの漢字を見たことがありますか。)

* このテキストは学習者とのやり取りを通じて場面や学習方法を紹介していきます。わかる日本語に限られていると
思いますので、適宜、媒介語を使用してもいいでしょう。

②「牛」「豚」「鶏」

T: 〈とびらのイラストの「牛」「豚」「鶏肉」の漢字を順番に指しながら〉

これは肉です。何の肉ですか。

* まず、知っている肉があるか、3種類の肉についてまとめて聞きます。

【学習者から出てこない場合】

T: ビーフですか？ ポークですか？ チキンですか？ 日本語で何ですか？

L: ビーフ

T: ビーフの漢字はどれですか？ (→「牛肉」「豚肉」「鶏肉」それぞれの漢字を確認)

* 上記のように、必ず言葉と漢字を一致させ、確認します。

③「産」「引」

T: 〈「産」を指して〉意味は何ですか？ このグレープフルーツはこの国のですか？

* 他にも例を示します。例) 中国産、オーストラリア産……

* クラスのレベルに合わせて、「国内産」=「日本産」も導入します

T: 〈「2割引」を指して〉ここに「2」があります。これは何ですか？

[学習者から出てこない場合]

T : 〈「20%引」などと書き換えて〉20%は、何が20%ですか？

(→「引き」にディスカウントの意味があることを確認)

書きマス目ページ

◎覚え方のヒントと留意点

20「百」

百「100」が横に倒れているイラストを紹介してもいいでしょう。

百 百

21「千」

漢字はカタカナの字形から連想できる構成要素を持つものが多いので、その場合はそのカタカナに似ていることを確認したり、また逆に、カタカナと形が異なる点を説明したりします。例えば、「千」の場合はカタカナの「チ」と似ていますが、はらいの部分が異なります。また、読み方にはカタカナと同じ「チ」という音があることなどを紹介します。(ただし、音読みの「チ」は2課で必ず取り上げてほしい読み方ではありませんので、クラスのレベルに合わせて適宜紹介してください。)

【読める】「牛肉」「豚肉」「鶏肉」

ここでは、「ぎゅう」「ぶた」「とり」という肉の読み方がわかればよいとします。「うし」は、クラスのレベルに合わせて扱います。「鶏」は「鳥」を紹介しても構いませんが、食品ではこちらのほうがよく目にすることを説明するといいいでしょう。また、「鳥」は初中級で学習します。

【見て、わかる】「～産」「～引き」

「産」は「生産地」、「引」は「値引き」という意味を表していることがわかればよいです。それぞれその漢字の前に来る国名、数字がわかれば意味が取れるので、ここでは読めなくてもいいとします。やってみようのコーナーで「2割引」を問う問題があるので、「～%引き」の他に「1割引き」のような表示もあることを紹介し、「1割」＝「10%」なども紹介しておくといいいでしょう。「産」「引」は初中級で学習します。

ポイント

- ①②④⑤…字形の問題
- ③⑥…語彙の問題
- ⑦…読み方の問題

練習2 やってみよう

- I ①学習者のお財布の中身を実際に確認してみてもいいと思います。
- ②どうしてAを買うと答えたか学習者に聞きます。Bの「お酒」という漢字を認識できているかどうか確認します。「お酒」は「見て、わかる」の漢字なので、読めない学習者がいても構いません。初級第7課でもう一度学習します。

- II ここでは、「～産」「牛（ぎゅう）」「豚（ぶた）」「鶏（とり）」の漢字を確認します。それ以外の情報はわからなくても構いません。まず、学習者に「どんな肉の種類があるか」を読み取ってもらい、答えを考えてもらいます。「国産」は「見て、わかる」の漢字を導入するときに押さえておく必要がありますが、ここで「その国のものである」ということをもう一度確認します。

[教室でのやり取り例]

T：鶏肉はいつやすいですか。

L：9日（水曜日）です。

T：いくらですか。

L：58円です。

III（聴解問題）

まず、A・Bスーパーの広告を黙読してもらってください。このとき、読み方や意味は確認しません。学習者がひと通り目を通したことがわかったら、音声を流し問題に答えてもらいます。答え合わせの際に「なぜAスーパーで買い物をするか」、その解法をクラス全体で共有します。

[教室でのやり取り例]

T：どうしてAスーパーで買いますか。

L：鶏肉が安いです。

T：そうですね。じゃ、Bスーパーの鶏肉はいくらですか。

L：80円*です。

T：どうして80円ですか。100円じゃありませんか。

L：20%安いですから。

T：そうですね。豚肉は、どこの国のものを買いますか。

L：日本のです。

* Bスーパーの鶏肉は、100円の2割引＝80円の計算が必要です。

- IV ここでは、漢数字の情報が取れるか確認します。漢数字以外の情報は取れなくても構いません。まず、学習者に漢数字に着目してもらいます。そして、その数字が日、時間、値段の何を表しているのか推測してもらいます。1では、選択肢と照らし合わせたり、またすでに学習した「日」から推測したりして答えを導きます。2は、周辺の情報から判断します。3の値段は、「円」の漢字から推測が可能です。このように多くの情報の中から知っている漢字を拾い上げ、文脈や周辺の情報から推測して読み取る力を養います。

[教室でのやり取り例]

T：たくさん数字がありますね。何の数字ですか。

L：ろく、はち。

T：はい。この六は何ですか。

L：……。

T：〈数字を順に指して〉これはいつですか。何時からですか。

* 「月」「日」「時」は次の3課で学習します。数字は日時と値段だということを確認します。学習者がすぐに気づかない場合は、教師がヒントを出します。